

令和 2 年度 指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
国 語	国語総合 （ 国語総合 α ）	2	2	なし

使用教科書	副読本等
三省堂「明解 国語総合 改訂版」	数研出版「書きたくなる アシスト常用漢字」

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
教科書・ノート。その他は必要があればそのつど連絡。	必修／選択	○				○		

1. 担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々な文章を通して、国語力を磨いてもらいます。具体的には、文章を的確に理解する力、文章を自分なりに味わう力、自分の感じたことを表現し、伝え合う力などです。
また、簡単な詩や短歌・俳句を通し、作者の心をつかむ練習もしてもらいます。
もちろん、基本的な漢字の学習も行います。

2. 学習の到達目標

- ・基本的な語彙を理解し、漢字を用いて表記できる。
- ・小説を読み、心情を理解する態度を身につける。
- ・論説文を読み、論理的に読み書きをができる思考力を身につける。
- ・詩や短歌・俳句に対する興味を持つ。
- ・言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：話す・聞く能力	c：書く能力	d：読む能力	e：知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート ・授業プリント ・観察 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート ・授業プリント ・観察 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート ・授業プリント ・観察 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート ・授業プリント ・観察 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート ・授業プリント ・観察 ・定期考査
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>					

4. 学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
4月 ～ 5月 中旬	小説	とんかつ	○		○	○	○	a:短編小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。 c:登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取り、まとめる。 d:現代小説に触れ、自己に引きつけながら読む態度を養う。 e:小説内の時間の移り変わりを理解する。	授業態度 発問評価 指名音読 プリント提出 定期考査
5月 下旬	評論	魚は陸から離れられない	○		○	○		a:評論の読解方法を習得し、現代小説を読み深める。	授業態度 発問評価 指名音読 プリント提出 定期考査
7月	小説	オムライス	○		○	○	○	c:登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取り、まとめる。また、評論における主題をつかみ、まとめる。 d:現代小説、評論に触れ、自己に引きつけながら読む態度を養う。 e:小説内の時間の移り変わりを理解する。	授業態度 発問評価 指名音読 プリント提出 定期考査
8月 下旬 ～ 10月 月上旬	小説 俳句	なめとこ山の熊 俳句（代表的な物を抜粋）	○		○	○	○	a:現代小説の読解を深める。 b:俳句のきまりを理解し、音読ができる。 c:現代小説に触れ、自己に引きつけながら読む態度を養う。 d:登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。また、作品の価値について理解できる。 e:漢字の知識を増やす。伝統的な言語文化を理解する。	授業態度 発問評価 指名音読 プリント提出 定期考査
10月 中旬 ～ 12月	小説	羅生門	○		○	○	○	a:短編小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。 c:登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取り、まとめる。 d:近代の代表的な小説を読んで、基本的な読解方法を習得する。 e:芥川龍之介に対する理解を深める。	授業態度 発問評価 指名音読 プリント提出 定期考査
1月 ～ 2月	評論 短歌	届く言葉、届かない言葉 短歌（代表的な物を抜粋）	○		○	○	○	a:評論の読解を深める。 b:短歌のきまりを理解し、音読ができる。 c:評論における主題をつかみ、まとめる。 d:評論の内容を自己に引きつけながら読む態度を深める。また、内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について理解できる。 e:漢字の知識を増やす。伝統的な言語文化を理解する。	授業態度 発問評価 指名音読 プリント提出 定期考査